

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポートセンターあさひが丘 放課後等デイサービス レラ			公表日	令和7年2月25日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・SST等の机上活動は刺激の少ない環境設定を行った療育室、身体を動かす際は会議室等の部屋を使用しています。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・基準配置職員を満たし、日々療育の運営を行っています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・今後も個々の特性に応じてより分かりやすい環境設定を行っていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・療育室やトイレは毎日掃除を行ったり、おやつや昼食後は机や床の掃除をこまめに行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもの状況に合わせて、さまざまな部屋を多様な意図で使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々のミーティングの中で、問題点や改善点があった際は、項目を1つに絞り、目的の確認や振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の意向などは早急にミーティングを行い改善に繋げられるよう努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・チーム会議などを利用し、職員間で気軽に意見交換できるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・保護者の皆さまからご指摘を受けた際は、早急に対応し、改善を図っています。また、第三者委員会へ報告しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修や勉強会の案内が定期的にあり、自分の必要なスキルや知識を身に付ける機会が多くあります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムの作成を行い、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・個別支援計画作成会議を通して、こどもや保護者のニーズを踏まえ、よりこどもの実態に合わせた計画の作成に取り組んでいます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・クラスをはじめ、チーム全体でこどもの実態を確認したうえで作成会議を実施しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・今後も職員間でお子さまの情報共有をしっかり行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日頃からこどもたちについて話す機会を設け、チーム内で共有し必要に応じてミーティングを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・該当項目について明記するとともに、定期的にもモニタリングを行い、支援の振り返りを行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・こどもたちの課題や実態に合わせた内容を活動に取り入れることができています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・他事業所の指導案や、公開療育、書籍などを参考に、よりこどもの実態に合わせたプログラムを立案しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			・今後はお子さまとの個別の時間も意識して作れるよう工夫を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・当日の午前中にミーティングでねらいや個別の支援方法について確認、変更を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・当日中の振り返りが難しい為、翌日の午前中に振り返りと当日の打ち合わせを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎日、日誌にお子さまの様子を記載し、振り返りが行えるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に一度はモニタリングを行い、支援内容の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			・今後も4つの基本活動を念頭において、日々の支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・細かな選択肢の提示、こどもたち同士での話し合いの場の提供など、こどもが自己選択、自己表出する機会を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者が会議に参加し、日々の様子を伝えられる体制をとっています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・年に二回、関係機関研修会を実施し、各関係者と連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・情報交換会や保育所等訪問支援を行い、保護者の意向や支援方法について共有や助言を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・アセスメントシートをもとに、事業所間で、支援内容や成育歴等を中心に情報の共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行支援シート(夢すこやかファイル)を作成し事業所での支援内容等の情報を移行先へ提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・児童クラブに在籍しているお子さまも複数名おり、学校終わりにには交流の機会があります。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・普段の引継ぎや担当者会議などを通して、保護者とこどもの現状などについて情報交換を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年に一度、保護者向けにペアレントプログラムを実施しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・希望票にて、お子さま、保護者様の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・実際に支援計画書をご覧いただきながら、支援内容の説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・年に一度は、個別相談のご案内をし、保護者様と話をする機会を作っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・年に二回、きょうだい児を対象としたきょうだい児支援会を実施し、交流の機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月おたよりを発行し、翌月の行事予定等についてのご案内をさせていただいております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載されている書類は持ち出さないこと、保管の必要がなくなった書類はシュレッダーにかける等、個人情報の取扱いに十分留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・体操教室、茶話会、会議場所の提供など用途に合わせて、地域の方に事業所を利用してもらっています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・活動内でも防犯や感染症について取り上げることでこどもたちにも意識をもってもらえるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に、書面にて保護者の方にご確認を頂いております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に、アレルギーに関する確認を行い、必要に応じて対応（おやつ提供など）を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・毎月、お子さま、職員を含めた避難訓練を行い、緊急時に落ち着いた行動がとれるよう努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所だけでなく、法人全体で共有を行い、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年、全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名を行い、園内研修を実施する等、虐待に向けた意識向上の為の取り組みを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				